

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス りあきっず		
○保護者評価実施期間	令和8年 1月 20日		～ 令和8年 2月 13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11名	(回答者数) 10名
○従業員評価実施期間	令和8年 2月 1日		～ 令和8年 2月 13日
○従業員評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 2日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	安心して通える環境を提供し、お子様の発達特性を丁寧に捉え、一人ひとりに応じた支援を行っていること。	個別支援計画をもとに、お子様の小さな変化や成長を共有しながら支援を積み重ねています。日々の様子を職員間で共有し、お子様の状態に応じて関わり方や活動内容を調整している。	今後も引き続き、職員間で連携をはかり、小さな変化にも気づいていくことが出来るよう意識し、継続していきたい。
2	ご家庭、保護者様とは、LINEやメールで連絡を取りやすくしているところ。 定期的に対面での面談を行い、電話でのご相談等も都度受け入れているところ。	送迎の際、最近の様子についてや、保護者様の困り感等についても聞き取りを行ったり、話しやすい雰囲気づくりを心がけている。	定期的な保護者会の開催、参観行事なども行っていきながら保護者様同士の交流の場を設けていけるよう取り組んでいきたいと考えている。
3	事業所内、他事業所、関係機関との情報共有、連携体制があるところ。	事業所内職員間の密な連携、併用先事業所との情報交換、保育園、幼稚園や学校とも連携している。	引き続き、関係機関との連携、情報交換等を小まめに行っていきながら統一した支援を行っていきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との交流など、地域に開けた事業所運営ができていない。 ・第三者委員会など外部機関との密な連携が不足している。	・地域との交流はどのように進めていけばいいのか方法が難しい。 ・外部機関との密な連携を取っていける手段が難しい。	・市や公的な団体へ方法の助言を聞くなどの取り組みをしていきたい。 ・安全に保護者間交流が出来る体制づくりを考えていきたい。
2	・ご家族に対してペアレントトレーニングや、ご家族向けの研修棟が出来ていない状況。 ・保護者会の開催もまだ1度しか行うことができておらず、保護者同士の交流できる場を作ることが出来ていない。	・事業所内でペアレントトレーニングを実施しようとすると職員の技術と人員増員が必要となる。現時点ではお子様方の療育をしっかり行うことにマンパワーがすべて取られている。 ・保護者間での交流を実現するにはマンパワーも多く必要となる。	・ペアレントトレーニングが出来る人材を確保していきたい。 ・安全に保護者間交流が出来る体制づくりを考えていきたい。
3	研修の時間や会議の時間をもっと多く取っていきたいが、午前中から利用のお子様もいるため、職員全員での研修等が難しい。	午前中から利用のお子様もいるため、職員全員での時間の確保が難しい状況。	同じ研修を個々に受けられる体制をつくり、スムーズに研修を行っていけるようにしていきたい。